

一般国道258号

だいそう
大桑道路

(道路事業)

説明資料

平成28年9月30日

中部地方整備局
岐阜国道事務所
北勢国道事務所

目 次

	だいそう	
1.	一般国道258号大桑道路の事業概要	
	(1)事業目的	P 1
	(2)計画概要	P 2
2.	評価の視点	
	(1)事業の必要性等に関する視点	P 3
	①交通渋滞の緩和	P 3
	②物流効率化の支援	P 3
	③ストック効果事例:地域生活の支援	P 4
3.	事業の進捗及び見込みの視点	P 5
4.	県・政令市への意見聴取結果	P 5
5.	対応方針(原案)	P 5
	(補足)東海環状自動車道との関係	P 6

1. 一般国道258号大桑道路の事業概要

(1) 事業目的

一般国道258号大桑道路は、岐阜県大垣市楽田町から三重県桑名市大字小貝須字柳原に至る延長41.6kmの道路であり、国道258号周辺及び西濃・滋賀方向から名古屋港・四日市港への物流軸を担う道路です。

暫定2車線区間には、事故危険箇所(4箇所)などの課題があり、本事業は、課題解決のために引き続き4車線化整備をすることで、交通渋滞の緩和、物流効率化の支援、地域生活の支援等の効果を見込んでいます。



大桑道路の全体位置図

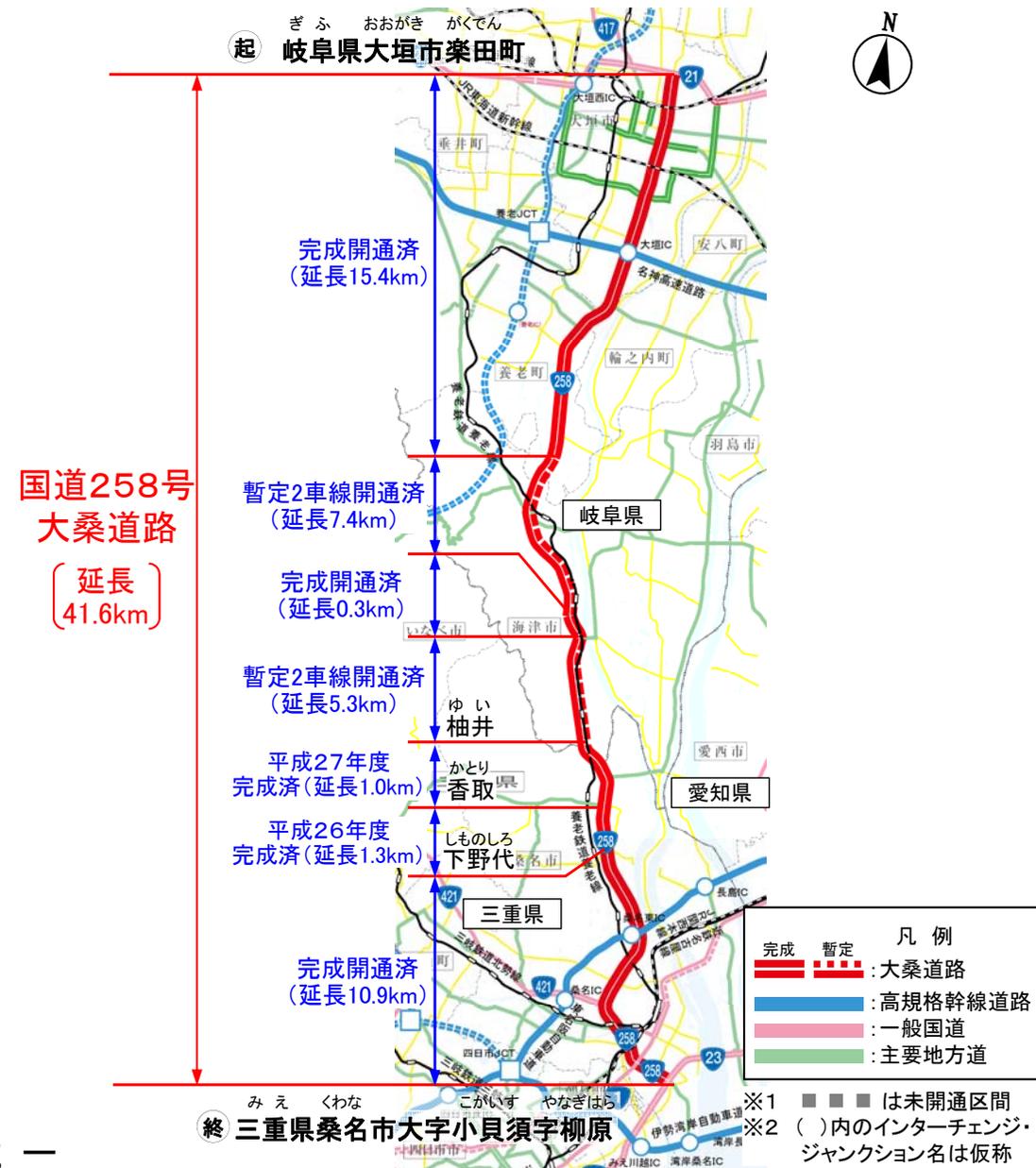


1. 一般国道258号大桑道路の事業概要

(2) 計画概要

順次車線拡幅を進めており、平成26年度に香取^{かとり}～下野代^{しものしろ}間(延長1.3km)が完成、平成27年度に柚井^{ゆい}～香取^{かとり}間(延長1.0km)が完成しています。

事業名	一般国道258号 大桑道路
道路規格	第4種第1級、第3種第2級
設計速度	60km/h
車線数	4車線
都市計画決定	<当初> 昭和40年度(旧多度町・桑名市境～国道23号) 昭和43年度(岐阜県側) 昭和53年度(岐阜・三重県境～旧多度町・桑名市境) <変更> 平成8年度
事業化	昭和40年度
用地着手年度	昭和40年度
工事着手年度	昭和40年度
延長 (平成27年度末)	41.6km (うち完成済28.9km)
前回の再評価	平成25年度(指摘事項なし:継続)
全体事業費	310億円(増減なし)
B/C	2.3(H25再評価時)



2. 評価の視点【事業の必要性等に関する視点】

①交通渋滞の緩和

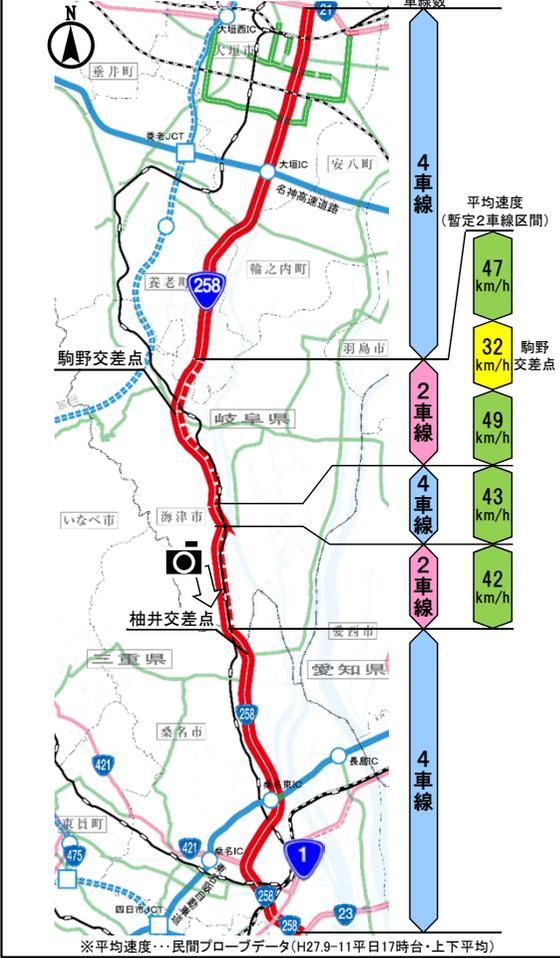
1)事業を巡る社会情勢等の変化

■**柚井交差点**では、4車線化により最大940mあった渋滞が解消しました。

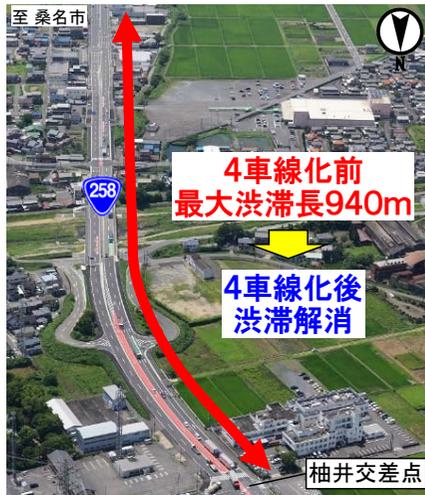
2)事業の投資効果

■**大桑道路**の4車線拡幅整備後は、旅行速度の低下がみられる**駒野交差点**の旅行速度が約5割向上します。

1)事業を巡る社会情勢等の変化



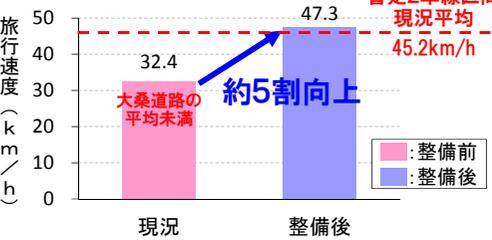
◆柚井交差点の整備後の様子



H28.7.11(11:06)撮影 ※渋滞調査結果(10時台)整備前:H27.5休日、整備後:H28.5休日

2)事業の投資効果

◆**暫定2車線区間の旅行速度向上** (駒野交差点の流入速度)



※旅行時間の算出方法
 現況：民間プローブデータ(H27.9-11平日17時台・上下平均)
 整備後：交通量推計より整備有無の旅行速度の変化率を現況値に乘じて算出

②物流効率化の支援

1)事業を巡る社会情勢等の変化

■**岐阜県**は石油の9割を三重県から搬入しており、**国道258号**が西濃地域への唯一のルートです。

■**国道258号**の暫定2車線区間には**事故危険区間**が4箇所あり、事故による渋滞が石油の輸送効率に影響しています。

2)事業の投資効果

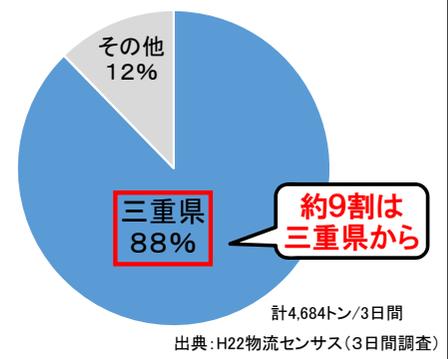
■**大桑道路**の4車線化整備により、**死傷事故件数**が約3割削減され、**物流効率化**を支援します。

1)事業を巡る社会情勢等の変化

◆**岐阜県**への石油輸送の状況



◆岐阜県の主な石油搬入先



【四日市市:A社(運輸業)】

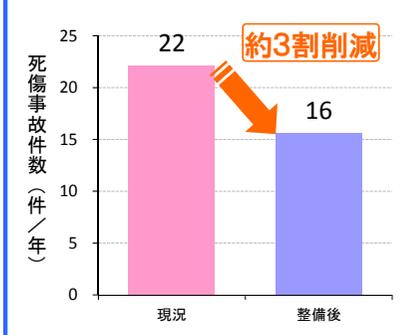
・国道258号は、石油を四日市コンビナートから岐阜県西濃地域に輸送する**唯一のルート**で、基本は1日3往復します。
 ・大型のタンクローリーは特殊車両のため、**迂回できません**。突発の事故などによる渋滞では、**2車線では完全に止まってしまうので困ります**。



出典：北勢国道事務所ヒアリング調査(H25.8)

2)事業の投資効果

・整備前後の**死傷事故件数**の変化 (暫定2車線区間)



※死傷事故件数の算定方法
 現況：事故統合データ (H20-H26)
 整備後：大桑道路の2車線と4車線の死傷事故件数の変化率を現況値に乘じて算出

2. 評価の視点【事業の必要性等に関する視点】

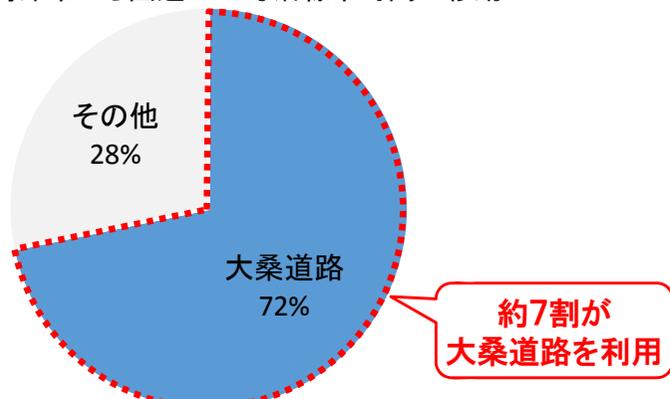
③ストック効果事例：地域生活の支援

■大桑道路は、海津市から沿線都市間への交通の約7割で利用されている地域に密着した主要幹線道路です。

■海津市民は、約8割が大桑道路沿線市で買回品を購入しており、更に沿線市への通勤者は約2.4倍に増加する等、大桑道路の整備により更なる地域生活の支援が期待されます。

■大桑道路の利用状況

※海津市から国道258号沿線市町間の移動



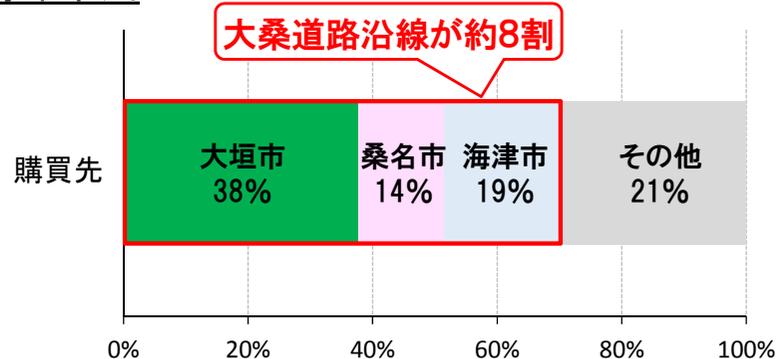
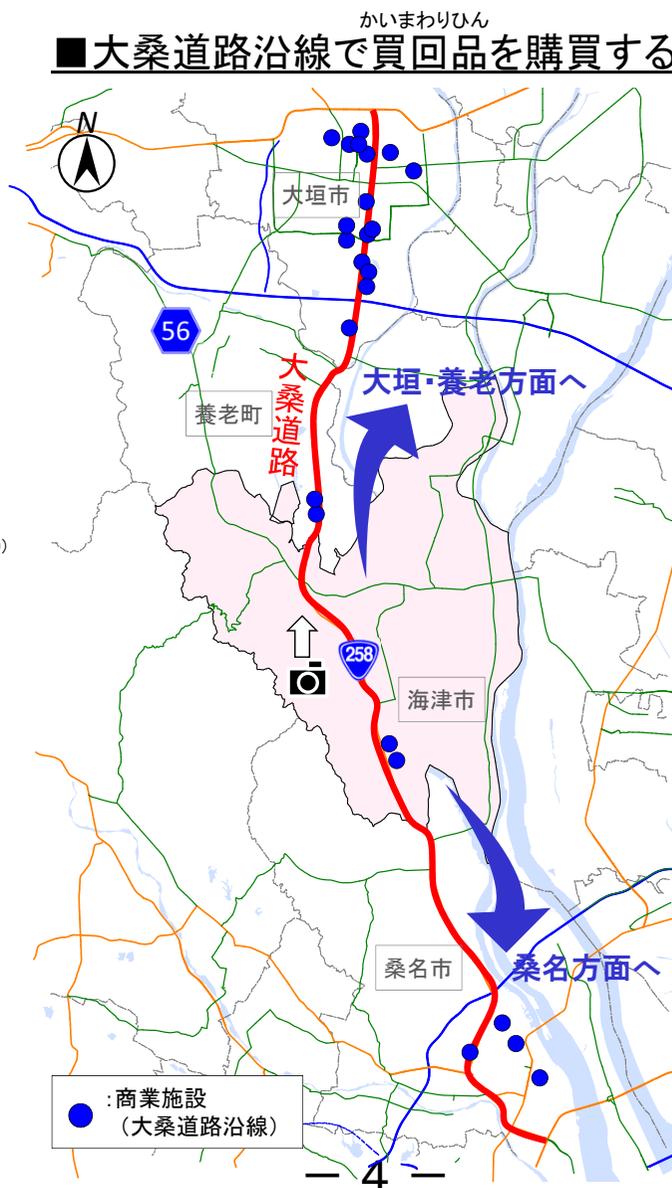
※国道258号沿線市町…大垣市、桑名市、養老町 ※出典：ETC2.0走行履歴データ(H27.10)

・大垣市街に向かって伸びる国道258号



H28.7.11撮影

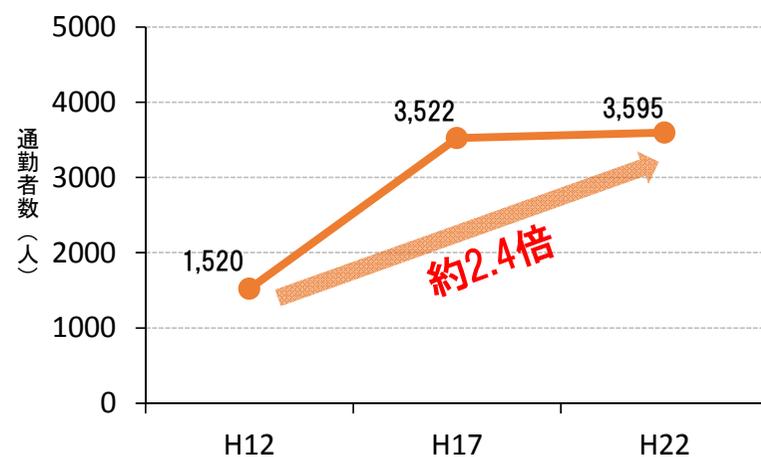
■大桑道路沿線で買回品を購入する海津市民



出典：平成25年度買物動向調査報告書(海津市)

※買回品：購入にあたり複数店舗を回り、品質や価格を比較検討して慎重に購入する商品 (紳士服、婦人服、婦人靴、スポーツ・レジャー用品、電気製品など)

■大桑道路沿線地域への海津市民通勤者数



大桑道路沿線地域…大垣市、桑名市、養老町

出典：各年国勢調査

3. 事業の進捗及び見込みの視点

1) 事業の進捗状況

- 事業進捗率は**87%**、用地取得率は99%に至っています。(平成27年度末)
- (参考) 前回再評価時 : 事業進捗率は**85%**、用地取得率は99%(平成24年度末)

2) 事業の進捗の見込み状況

- 桑名市多度町由井から桑名市多度町香取(延長1.9km)は平成28年3月21日に開通しています。
- 残る、養老郡養老町大巻から桑名市多度町由井(延長11.8km)は関係機関との調整を踏まえ整備を実施します。

4. 県・政令市への意見聴取結果

■ 岐阜県の意見

対応方針(原案)のとおり、事業の継続について異存ありません。
なお、事業費については、最新技術の活用も含めて、徹底した縮減をお願いします。

■ 三重県の意見

対応方針(原案)のとおり、事業の継続について異存ありません。
本事業は、交通渋滞の緩和や地域経済の発展に寄与する重要な事業でもあり、昨年度、三重県内の4車線化は、完了していただきました。今後
も引き続き暫定2車線の早期全線4車線化に向けた事業の推進をお願いいたします。

5. 対応方針(原案)

- 一般国道258号大桑道路の事業を継続する。

(補足)東海環状自動車道との関係について

(参考)大桑道路と東海環状自動車道の役割分担について

- 大桑道路と東海環状自動車道は、岐阜県西濃地域と三重県北勢地域を結ぶ主要幹線道路であるという面では重複しますが、事業の目的、道路構造、利用条件等がそれぞれ異なります。
- 大桑道路は主に沿線地域の交通、東海環状自動車道は高規格ネットワークを形成し広域的な交通を担うことが期待されています。

東海環状自動車道

事業目的

- ・広域ネットワークの構築
- ・産業競争力の強化
- ・広域物流ネットワークの拡充
- ・災害に強い道路機能の確保

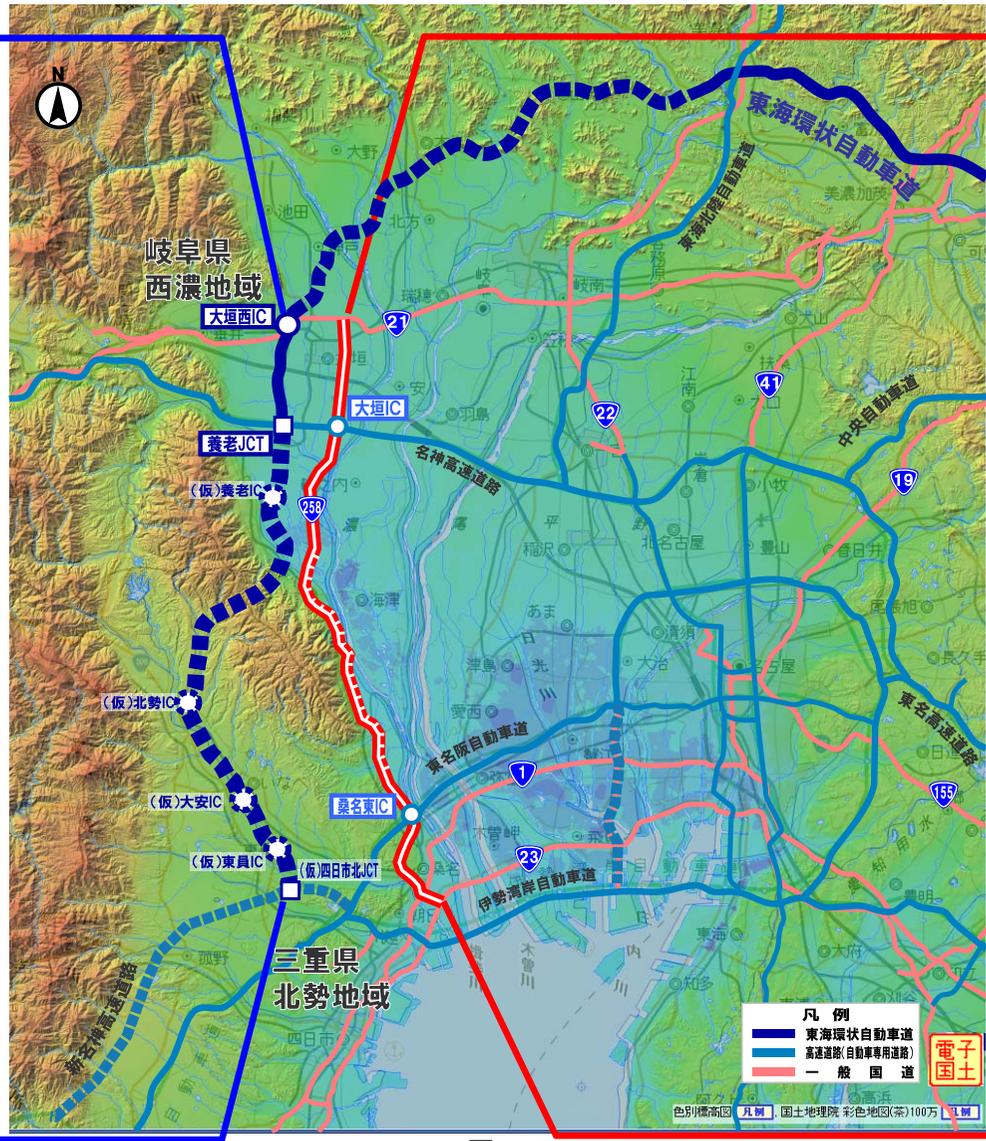
構造規格等

- ・延長
豊田東JCT～(仮)四日市北JCT：約160km
⇒内大桑道路並行区間
大垣西IC～(仮)四日市北JCT：41.5km
- ・道路規格：1種2級
- ・設計速度：100km/h
- ・車線数：4車線

利用条件等

- ・自動車専用道路
- ・アクセスコントロール：あり
(IC・JCT数：7箇所)
※大桑道路並行区間

【西濃・北勢地域周辺の広域道路ネットワーク図】



一般国道258号大桑道路

事業目的

- ・交通渋滞の緩和
(暫定2車線区間の渋滞)
- ・物流効率化の支援

構造規格等

- ・延長：41.6km
- ・道路規格：4種1級
3種2級
- ・設計速度：60km/h
- ・車線数：4車線

利用条件等

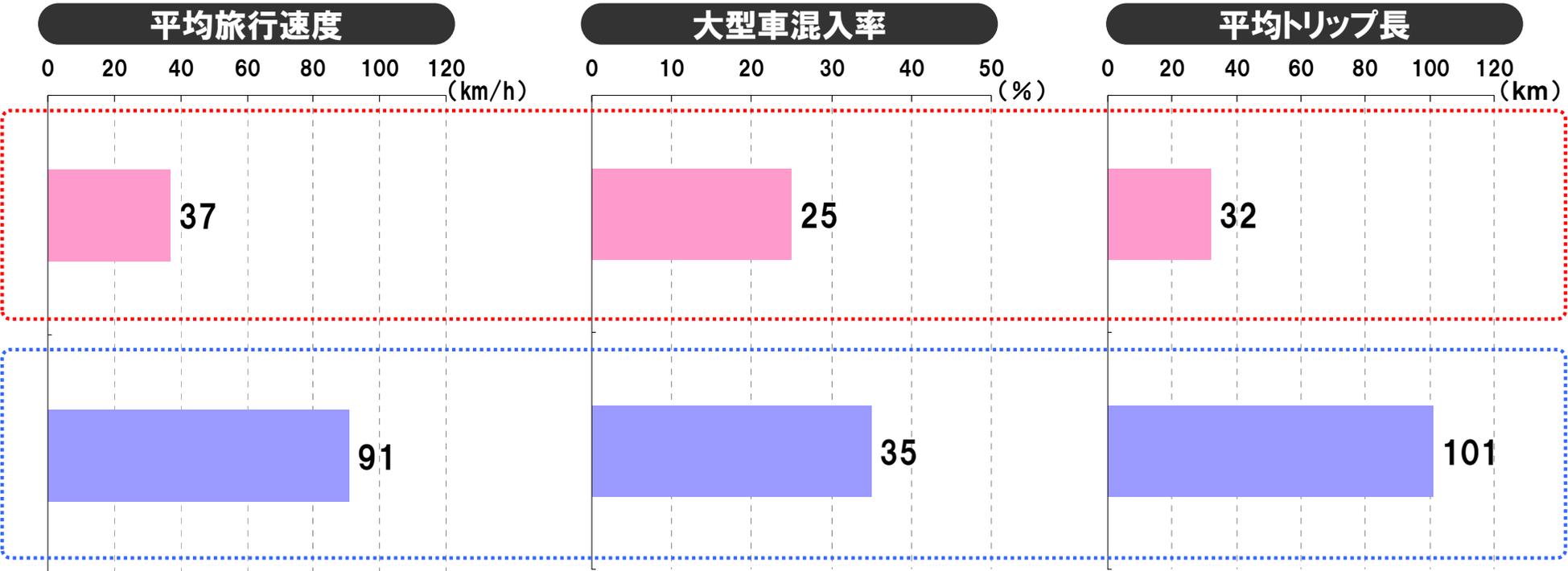
- ・一般道路(車道+歩道)
- ・アクセスコントロール：なし

(参考)大桑道路と東海環状自動車道の役割分担について

■大桑道路と東海環状自動車道は道路構造や利用条件等が異なるため、利用交通の平均旅行速度で約54km/h、大型車混入率で約10%、平均トリップ長で約69kmの差があるなど、大桑道路は主に沿線地域の交通、東海環状自動車道は広域的な交通を担う交通特性があります。

大桑道路

東海環状自動車道
大垣西IC～四日市北JCT(仮)



大桑道路 L=41.6km (主に沿線地域の交通が利用)

※将来交通量推計に基づく集計



※平均トリップ長

- ・利用交通における発着地間の走行距離(トリップ長)の平均値。
- ・平均トリップ長が短い距離であれば沿線地域に発着する交通の利用が主体、長い距離であれば、広域交通の利用が主体であるといえる。

凡例

- 完成供用 暫定供用
- 大桑道路
- 高規格幹線道路
- 一般国道
- 主要地方道
- 主要渋滞箇所

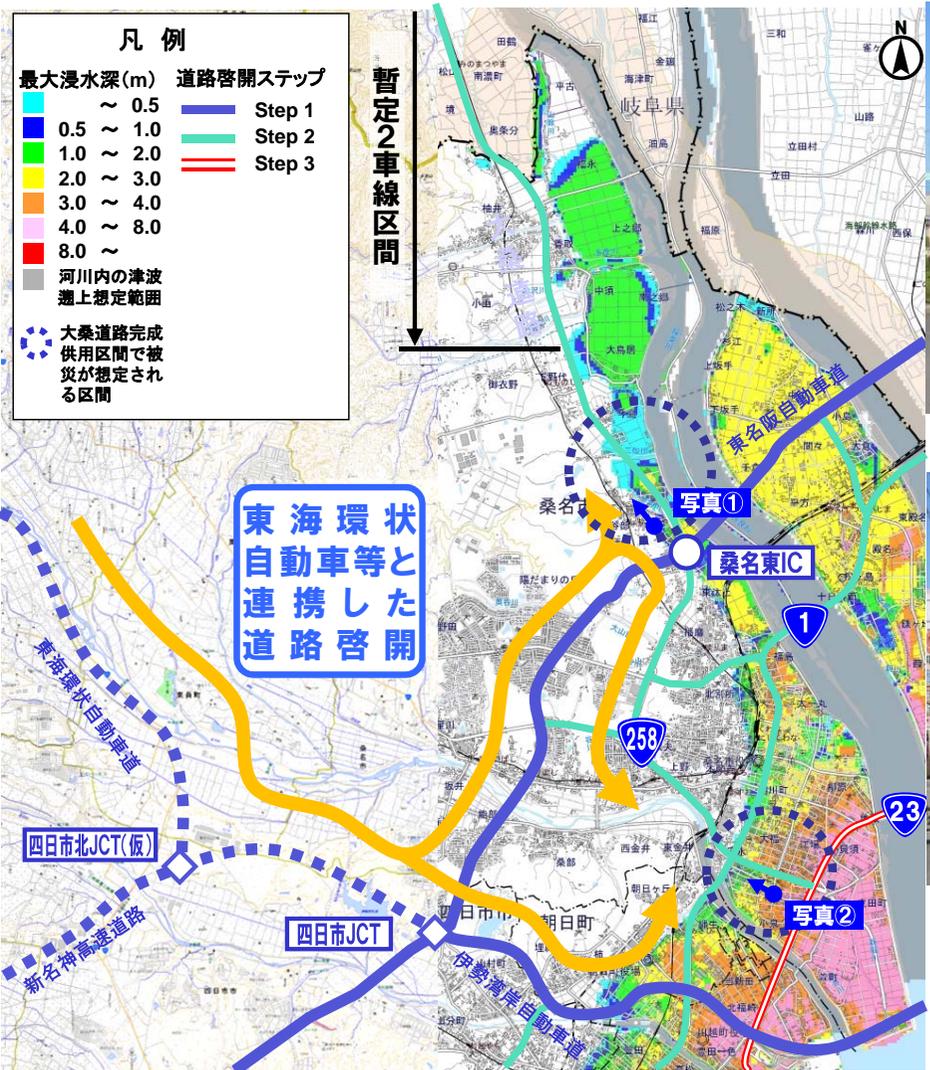
東海環状自動車道
大垣西IC～四日市北JCT(仮) L=41.5km (主に広域交通が利用) — 8 —

(参考)大桑道路と東海環状自動車道の役割分担について

■大桑道路は、三重県による大規模地震に伴う津波被害想定において桑名市内の2箇所において被災することが想定されています。

■被災時には、中部版くしの歯作戦により、東海環状自動車道等との連携によって道路啓開が展開され、東海環状自動車道等と一体となって、桑名市内をはじめ被災地域への救助活動・緊急輸送ルートとしての機能を担います。

◆大桑道路周辺地域の津波浸水予測 (満潮時かつ防潮堤等の施設がない条件下での予測結果)



※三重県防災対策部「平成23年度津波浸水予測図」を基に作成

◆沿道の利用状況



※平成25年10月 北勢国道事務所撮影



※平成25年10月 北勢国道事務所撮影

◆高速道路と連携した道路啓開ステップ (中部版くしの歯作戦)



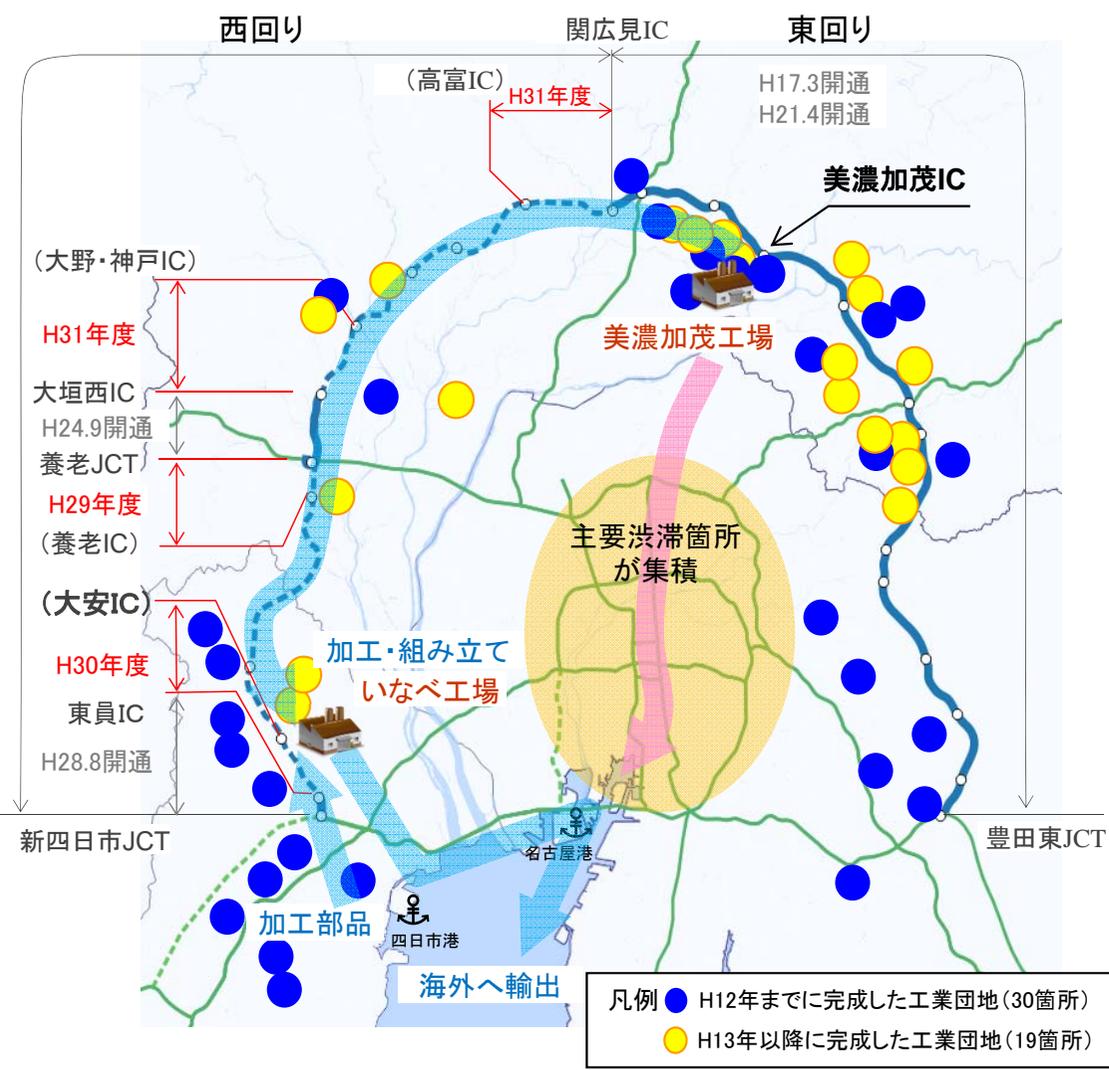
○ 国道事務所	× 広域防災活動拠点
○ 高速道路管理事務所	◆ 民間物資拠点 ターミナル
● 地方公共団体(県本庁舎及び県総合庁舎)	■ 民間物資拠点 倉庫
● 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎	▲ 道の駅
⊗ 警察庁舎	道路啓開ステップ
⊗ 消防本庁舎	Step 1 ※東海環状自動車道 新名神高速道路は 開通後にStep1で機能 と想定
⊗ 港湾関係 指定特定重要港湾	Step 2
⊗ 災害拠点病院 地域災害医療センター	Step 3

※『平成24年度「中部版くしの歯作戦」【道路啓開オペレーション計画】』
※平成25年5月中部地方幹線道路整備局資料を基に作成

(参考) 東海環状自動車道のストック効果 ~企業の生産性向上~

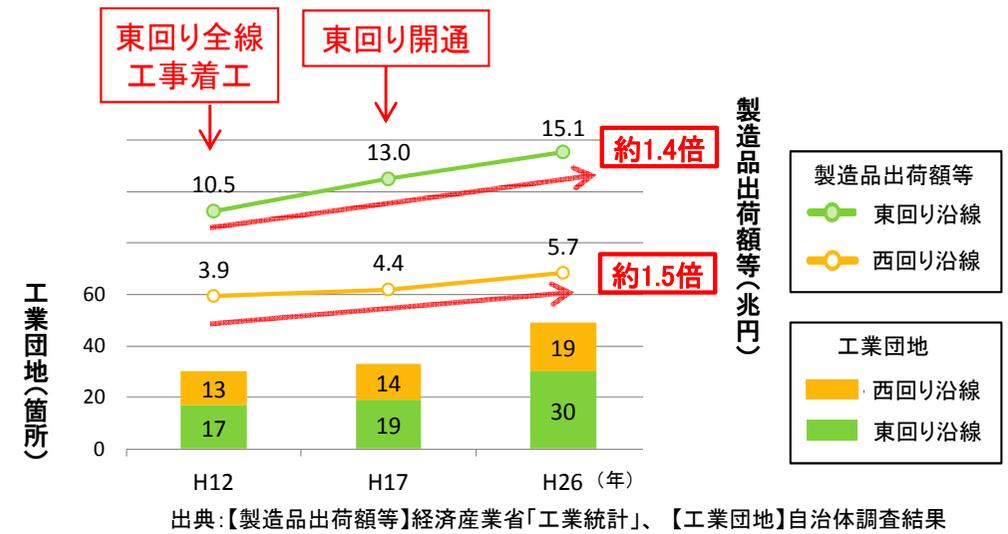
- 東海環状自動車道の沿線では、東回り全線着工後、工業団地への進出企業数は約130企業、これにより約3万人の雇用が創出。
- 沿線の製造品出荷額等は、既に開通している東回りが1.4倍に増加、西回りも今後の開通を見据え1.5倍に増加。
- 大手工作機械メーカーは、沿線への新工場立地により物流の効率化が可能となる等、更なる生産性向上が期待されます。

■沿線の工業団地と大手工作機械メーカーの物流



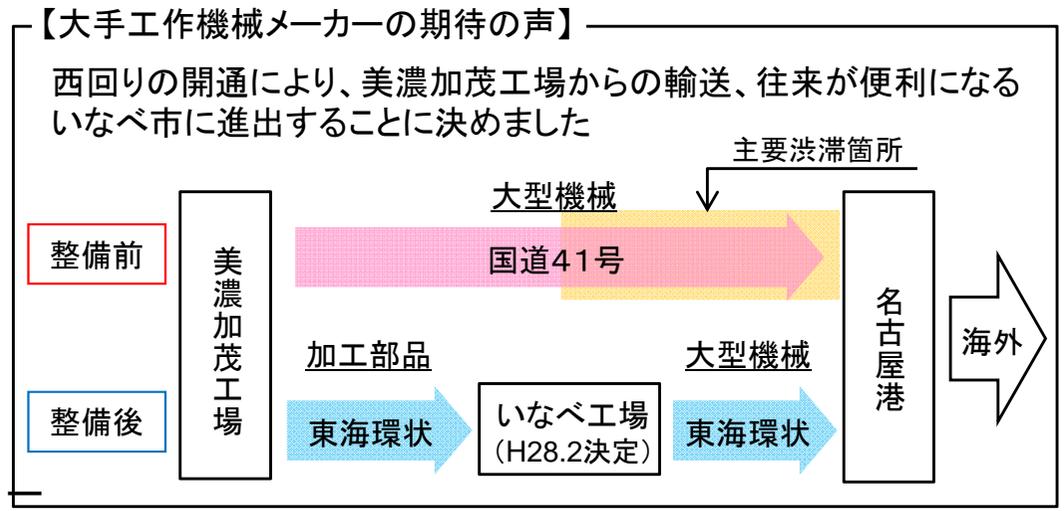
※平成27年3月末時点(自治体調査結果)
※()書きのIC名称は仮称

■工業団地と製造品出荷額等の推移



■西回り整備を見据えた企業活動の事例

港の近くで大型機械の組立てが可能となる等、企業の生産性が向上

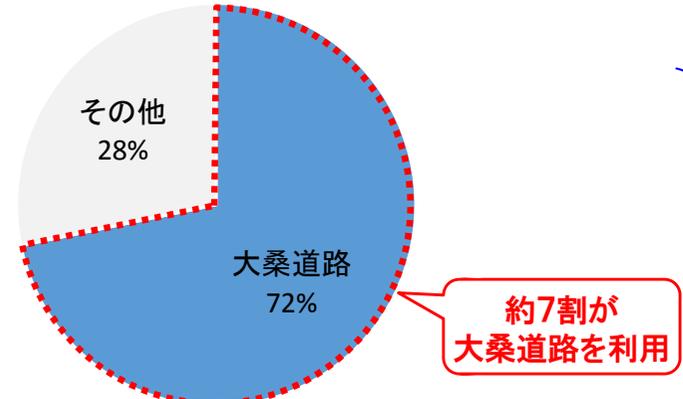


(参考)大桑道路のストック効果 ～地域生活の支援～

- 大桑道路は、海津市から沿線都市間への交通の約7割で利用されている地域に密着した主要幹線道路です。
- 海津市民は、約8割が大桑道路沿線市で買回品を購買しており、更に沿線市への通勤者は約2.4倍に増加する等、大桑道路の整備により更なる地域生活の支援が期待されます。

■大桑道路の利用状況

※海津市から国道258号沿線市町間の移動



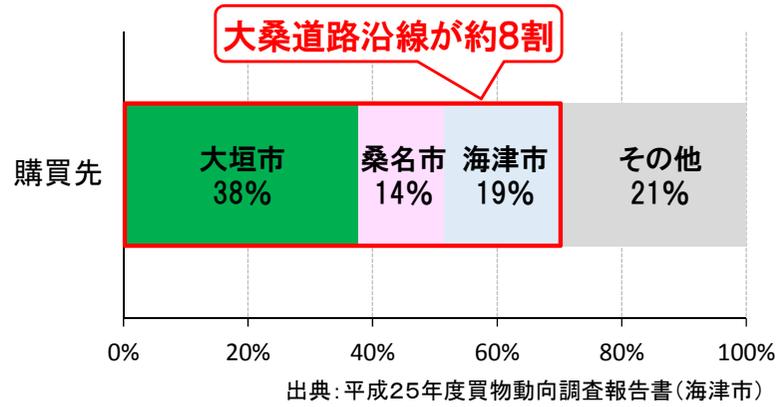
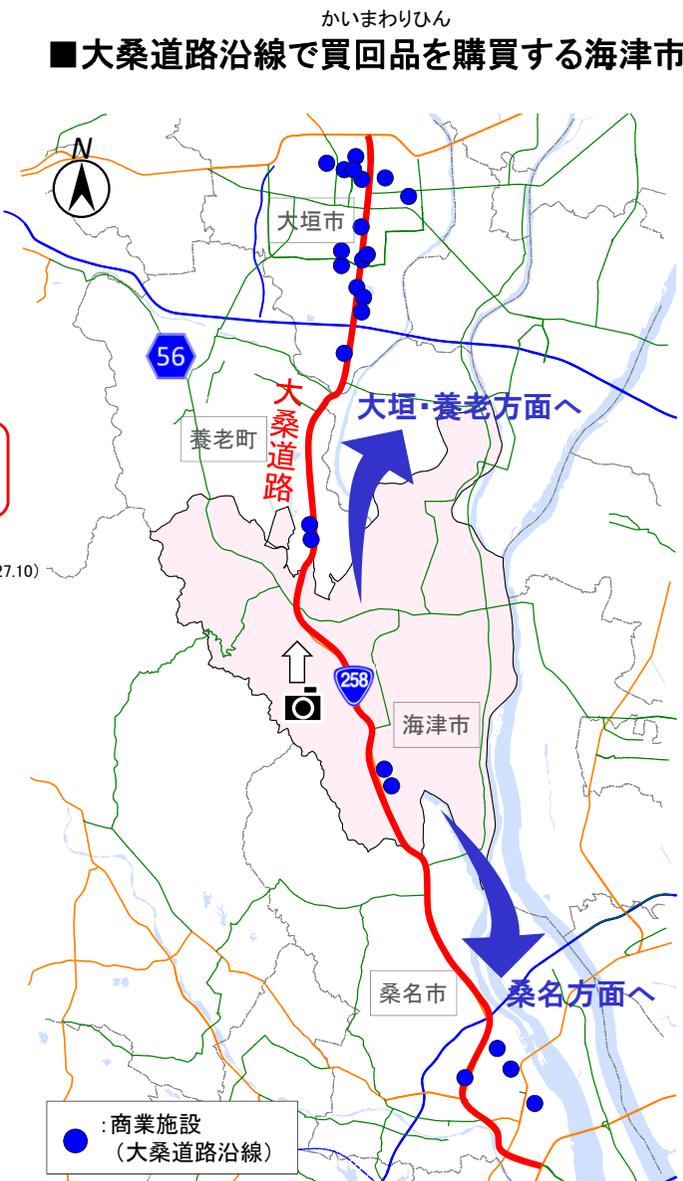
※国道258号沿線市町…大垣市、桑名市、養老町 ※出典：ETC2.0走行履歴データ(H27.10)

・大垣市街に向かって伸びる国道258号



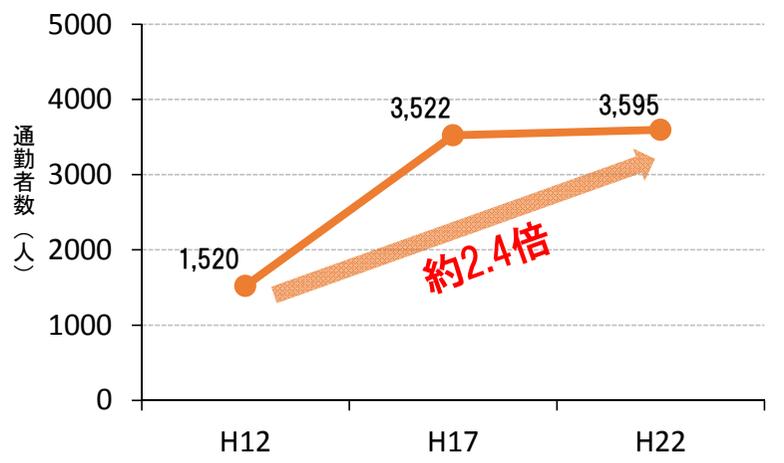
H28.7.11撮影

■大桑道路沿線で買回品を購買する海津市民



※買回品：購入にあたり複数店舗を回り、品質や価格を比較検討して慎重に購入する商品 (紳士服、婦人服、婦人靴、スポーツ・レジャー用品、電気製品など)

■大桑道路沿線地域への海津市民通勤者数



大桑道路沿線地域…大垣市、桑名市、養老町 出典：各年国勢調査